

# 春

spring

## 平川さくらまつり

開催日 / 4月下旬  
～5月上旬  
場所 / 猿賀公園



時と水 ゆったり流れる 平川市



# 四季のイベント

season event

# 平川

## 平川市 蓮の花まつり

開催日 / 7月下旬  
場所 / 猿賀公園



# 夏

summer



# 秋

autumn

## 猿賀神社十五夜大祭

開催日／旧8月15日（土）  
場所／猿賀神社

## ひらかわフェスタ

農産物や加工品などの旬な地場産品を販売します。ほかにもステージショーや抽選会などのさまざまなイベントがあり、終日賑わいます。

開催日／9月上旬  
場所／ひらかドーム



# の春夏秋冬を「彩る」



## ～冬のツーリズム～ 尾上農家蔵物語

金屋地区に群立する農家蔵を舞台に行われる、尾上農家蔵物語。蔵が多く並ぶ通りには、灯籠が並べられるほか、蔵のライトアップにより幻想的な雰囲気を作りだしています。

開催日／1月下旬  
場所／金屋地区

## はしご酒まつり (左下)

開催日／2月上旬  
場所／参加飲食店

## 七日堂大祭 (右下)

開催日／旧1月7日  
場所／猿賀神社



winter

# 冬



# 物産

product

## 平川市の主な農産物

### 豊かな大地と 自然に育まれた農産物が大人気!!

#### りんご

平川市では、肥沃な土壌と昼夜の寒暖差が織りなす気象条件によって、色づきがよく果肉が締まった甘みの深いりんごが栽培されています。農家の卓越した生産技術により、青森県りんご品評会では、最高賞の農林水産大臣賞を数多く受賞しています。



#### 津軽の桃

「津軽の桃」は、津軽平野の豊かな大地と昼夜の寒暖差により、「果汁が多く」「甘みが強い」のが特徴です。桃の栽培方法はりんご栽培と似ている部分が多く、剪定、実すぐり、袋掛け、果実の色付けなど、りんご農家の技術が活かされています。



#### 高冷地野菜

平川市の山間部に位置する東部地区では、夏季冷涼な気候と広大な土地を活かして高冷地野菜の栽培が行われています。旨味・甘味ともに濃いのが特徴で、全国からの引き合いも強く、市場関係者から高い評価をいただいています。



#### 青天の霹靂 (せいてんのへきれき)

粘りとキレのバランスがよく、上品な甘みの残る味わいが特徴で、青森県が誇る注目のブランド米です。米の食味ランキングにおいては、デビュー以来連続で最高評価「特A」を獲得しています。



## 平川市の主な特産品・工芸品



#### 『CRAZY CIDER』

平川市ではじめてつくられたりんごの果実酒です。「津軽おのえ温泉 福家」の隣で醸造されています。湯上がりはもちろん、1杯目にグビッと飲みたい辛口のシードルです。

■タグボート株式会社  
新屋町道ノ下35-2  
TEL:55-0200  
FAX:55-0198



#### 『りんごの豆しぼり』

昔ながらの豆しぼりがりんご柄になりました。ところどころに織り交ぜた白いりんごが心地よいリズムをきぎみます。優しいぬくもりにこだわった製品をお確かめください。

■久光社  
南田中北原58-2  
TEL:57-5218  
FAX:57-4455



#### 『あomorい林檎セミドライ・ショコラ』

青森県産のりんごを100%使用した半生食感のセミドライフルーツシリーズです。素材を生かす蜜漬け・ドライ工程にこだわり、青森りんごの甘酸っぱさを生かしました。

■有限会社まごころ農場  
吹上安田308  
TEL:92-2054  
FAX:92-2057



#### 『e.wood+(イーウッドプラス)』

日本発明大賞、特許庁長官賞を受賞した薄板の曲げ技術加工の「e.wood+」。この技術で作られたコースター&鍋敷です。木のぬくもりと使うごとに経年変化する木の色もお楽しみください。

■株式会社今井産業  
新館藤山16-1  
TEL:44-2145  
FAX:44-2568

豊かな自然の恵みあふれる物産・特産品です。素朴ななかにも伝統がいきづく品々は、丹精込めた逸品です。素材の良さがギュッと詰まった味からは、ふるさとのやさしい思い出があふれでできます。



**スチューベンモンブラン(左)**

平川市産スチューベンを使用したモンブランです。

**アップルケーキ(右)**

りんごを丸ごと1個使用。甘さ控えめでりんごの味が引き立つ商品です。

**焼きドーナツ(下)**

全6種。油で揚げていないのでヘルシーです。詰め合わせに人気です。

■古川菓子舗 尾上栄松24-1  
TEL57-2206 FAX57-2206



**マルメロチキンカレー(左)**

碓ヶ関特産のマルメロと県産鶏肉を使ったカレーです。道の駅いかりがせきのレストラン彩里でも食べることができます。

**ごろっと林檎カレー(右)**

大ぶりのりんごと豚そぼろをスパイシーなカレーに仕上げました。

■碓ヶ関開発株式会社 碓ヶ関碓石13-1  
TEL49-5020 FAX49-5021



**桃のスフレロール(左下)**

ケーキの中に平川市産桃のシロップ漬けが詰まっているほか、生地や生クリームにも桃を使用しており、桃づくしのロールケーキです。

**蓮根羊かん(右上)**

平川市産の蓮根を使った羊かんで、50年以上前から販売されているロングセラー商品です。

■菓子処西谷 尾上栄松61-2  
TEL57-2240 FAX57-2240



**抹茶の生チョコどら焼き(上)**

人気商品「わさもどら」の新品。濃厚な抹茶の生チョコと北海道産大納言小豆を贅沢にサンドしました。

**ふるるん桃水(下)**

平川市産の桃をたっぷり使い、桃の風味を活かした水羊かんです。ゼリーのような食感で甘さ控えめのさっぱり味です。

■ももさわ菓子舗 本町北柳田16-1  
TEL44-2015 FAX44-1074



**ハチミツ入りりんご酢(左)**

木樽にて熟成させたりんご酢にハチミツを加えました。水・牛乳・お酒などをミックスしてお召上がりください。

**濁りりんご酢「細雪」(中)**

りんご酢に健康価値が注目されている酢酸菌を残しました。りんごの豊かな風味をお楽しみいただけます。

**女神の林檎(右)**

100年余にわたり培ってきた醸造技術とノウハウが生み出した黒りんご酢と、美容・健康成分あおもりPGがひとつになりました。

■カネショウ株式会社 日沼富田30-12  
TEL57-2121 FAX57-5500



**津軽名物**

**大判ピーナッツせんべい**

昔ながらの技法を頑なに守り、1枚ずつ丁寧に焼かれたせんべいです。甘めの生地で大粒の豆がぎっしり詰まり、サクッと食感と豆の香ばしさが楽しめます。定番のピーナッツのほか、カシューナッツなども取り揃えています。

■中畑手焼きせんべい本舗 岩館村元52  
TEL44-3570 FAX44-3570



**津軽塗**

津軽の人々に流れる素朴さやおもいやりがあふれる津軽塗。箸、茶托などにその思いが伝わります。

■こまや漆器 日沼高田174-1  
TEL57-4771 FAX57-4822



**おからこんにやく(プレーンタイプ)**

焼く!揚げる!!でビックリ!!まるで「お肉みたい」や「魚」の食感なんです。レタスの4倍もある食物繊維、低カロリー志向の食材なのでダイエット中の方にもオススメです。

■(有)カネ久越後屋商店 日沼富田30-8  
TEL57-5600 FAX57-5722



**りんごの村**

青森県産りんごの芯をくり抜き、完熟りんごの風味をそのまま、まるごとシロップ漬けにしました。みずみずしさとほどよい歯ごたえをお楽しみいただけます。

■株式会社木村食品工業 李平上安原2-19  
TEL57-2731 FAX57-2641



# 文化財

cultural heritage

# 今も数多く遺る「古の伝統」



## 板碑 (県重宝)

鎌倉時代初期に地頭代として当地に派遣された曾我氏の板碑で、4基存在しています。そのうち3基は嘉暦2年・4年(1327年・1329年)、貞和2年(1346年)の年号が確認されており、当時の歴史と宗教を知る上で貴重な資料となっています。



## 鱈口(県重宝)

正長2年(1429年)の銘があり、市内最古の鋳造物。県内でも、深浦町円覚寺の鱈口、弘前市の長勝寺の梵鐘に次いで古いものです。

## 菩薩坐像(県重宝)

寛文10年(1670年)に美濃国の僧「円空」により作造、奉納されたもの。1本の素木から作造されています。



## 獅子踊(県・市指定文化財)

古来より五穀豊穡・祖霊崇拜・悪疫退散などを目的に伝承されてきた民俗芸能で、市内には9組(八幡崎・広船・尾崎・新屋・町居・沖館・石郷・大光寺・古懸)の獅子踊が伝えられています。八幡崎・広船・尾崎・古懸の踊りは県無形民俗文化財、そのほかも市文化財に指定されています。毎年旧暦の8月15日には、猿賀神社境内にて「猿賀神社大祭奉納県下獅子踊大会」が開催され、笛、太鼓、鉦の囃子に合わせた勇壮な踊りを披露しています。



## 盛美園(国名勝)

清藤家24代盛美が小幡亭樹宗匠を招き、明治35年(1902年)から9カ年を費やして作庭した、池泉枯山水廻遊式の大石武学流を代表する名園です。一角にある盛美館は、1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の珍しい建物で、庭園と融合した独特の美しさがあります。





## 猿賀神社本殿(県重宝)

津軽の霊地として名高い「猿賀神社」は、主祭神を「上毛野君田道命」とし、大同2年(807年)に坂上田村麻呂によって建立されたと伝えられています。

文政9年(1826年)に造営された本殿は、素木造りの簡素なものですが、梁間3間の流れ造りとなっています。また、屋根の両棟飾である「鬼板」には、阿吽の龍の彫刻が施されています。



## 清藤氏書院庭園(国名勝)

清藤家本邸の書院庭園で江戸末期ごろの作庭とみられます。東西に細長い鑑賞式枯山水庭で、東南隅に枯滝石組を組んでおり水が2筋に分かれる仕組みとなっています。石組は、さほど高くないが迫力があり、庭の主景をなしています。

また、枯池の岸は低い平石組をめぐるしています。大石武学流定型化の先駆をなす庭として名高いものとなっています。



## 七日堂大祭(国選択・県指定無形民俗文化財)

猿賀神社で旧暦1月7日に行われる「柳からみ神事」と「ごまの餅撒き神事」の2つの特殊神事で、江戸時代初期に始まったとされています。

「柳からみ神事」は、奉仕者が御柳を頭上に振り上げ、太鼓の合図で盤面に打ち付けるもので、打つ回数も平年は12回、閏年は13回となっており、枝が早く落ち尽くせば豊作、遅く散すれば凶作といわれています。

「ごまの餅撒き神事」は、細長いごま入りの紅白の餅を境内に設けられた3ヵ所のやぐらから神職が参拝者に向かって撒くもので、参拝者は、五穀豊穡と無病息災のお守りとして持ち帰ります。また、津軽の七日堂祭として広域で選択を受けています。

## 柏木町荒馬踊(市指定文化財)

「田楽」の流れを汲む儀礼的芸能で、「サナブリ」「虫送り」が芸能化されたものです。山の神信仰と関わり、豊作を祈願するものとなっています。

## ボノ神送り(市指定文化財)

天然痘(疱瘡)を「疱の神」の仕業と考え、男女一對の藁人形を村はずれに立て村内の悪疫を追放、村外からの悪疫を防ぐ民俗行事です。

